



# 触媒学会理事会からの報告

2020年3月25日（水）

1. 会長方針
2. 広報活動の充実化
3. 産官学交流
4. 国際交流活動
5. Catalysis Park 10周年記念
6. 第4回企業研究者と学生の交流会
7. 2020年度会長信任投票結果
8. 2020年度理事会体制

# 1. 会長方針

**“Dots Connecting (人を繋ぎ・知を繋ぐ)”**

**⇒ 広報活動の充実化**

## 1) 広報活動の整備

広報担当理事の新設、仕事内容・広報委員構成の見直し  
学会HPの改訂・英文化、入会パンフレットの改訂

## 2) 産官学連携

触媒の未来を考えるWG(産官学若手研究者)  
討論会春の特別シンポ、企業研究者と学生の交流会

## 3) ICC招致

ICC招致立候補、招致WGの活動(招致資料準備等)  
ICC招致担当理事の新設、ICC学生参加支援

#### 4) 国際交流

2か国交流セミナー(日韓、日台、日中(協賛))

TOCAT-9の準備開始

APACSやIACSへの委員派遣と各賞の推薦



#### 5) 啓発活動

Catalysis Park 10周年記念イベント

デモ実験のマニュアル化

#### 6) その他情報発信

触媒総合事典(創立60周年記念、2021年刊行予定)

#### 7) 新型コロナウイルス対策

災害対策本部設置

春の触媒討論会・懇親会・特別シンポジウムの中止

(対策の反省・今後の整備)

春の討論会の発表・参加登録法の見直し

討論会でのネット利用や理事会テレワーク導入の検討

## 2. 広報活動の充実化

### (1) 広報委員会の体制の拡充

広報活動の充実を図るため体制を拡充

| 6名体制        |  | 9名体制        |
|-------------|--|-------------|
| 委員長(総務担当理事) |  | 委員長(総務担当理事) |
| 幹事          |  | 幹事          |
| 委員(北海道支部)   |  | 委員(北海道支部)   |
| 委員(東日本支部)   |  | 委員(東日本支部)   |
| 委員(西日本支部)   |  | 委員(西日本支部)   |
| 事務局(常務理事)   |  | 委員(討論会委員会)  |
|             |  | 委員(編集委員会)   |
|             |  | 委員(企画教育委員会) |
|             |  | 事務局(常務理事)   |

- 各種委員会との調整をスムーズに行うために各委員会・支部から選出。
- 学会HP更新作業を効率化
- 会議の重複をさけるため、討論会期間以外に委員会を開催する。

- 2020年度より委員長には広報担当理事(新設)が就任。

## 2. 広報活動の充実化

### (3) 入会案内パンフレットの刷新



### 3. 産官学交流

#### (1) 「触媒の未来を考えるWG」の立ち上げ

##### 【目的】

触媒学会の更なる活性化ならびに未来の触媒技術の発展とそれを支える人材育成のために、「触媒の未来を考えるWG」を産官学若手研究者で構成し理事会に提案する。

##### 【ゴール】

2020年3月25日開催の理事会にて議論・検討結果を報告する。

##### 【チーム構成】

産2名＋官学3名＝5名を基本としたチーム構成で2チーム（計10名）  
理事会・各支部からの推薦、異分野・異業種をベースに編成

| Aチーム   |         | Bチーム   |         |
|--------|---------|--------|---------|
| 濱口 豪*  | 豊田中央研究所 | 三上 仁志* | 本田技術研究所 |
| 浦山 鉄平  | 旭化成     | 原 雅寛   | 三菱ケミカル  |
| 三津井 知宏 | 日揮触媒化成  | 渡部 綾   | 静岡大     |
| 本田 正義  | 東京理科大   | 高山 大鑑  | 東工大     |
| 桑原 泰隆  | 大阪大     | 田村 正純  | 東北大     |



### 3. 産官学交流



#### (2) 「触媒の未来を考えるWG」合宿

- 令和2年1月24日（金）～25日（土）で集中討議を実施
- 両チームとも「触媒学会の活性化」が最大の課題と設定
- 「触媒学会のプロモーションが低い」ために「触媒学会の活動等が知られていない」との認識から、HPの使いやすさ向上やSNSを使ったプロモーション、討論会時のスマホ連携などの意見があった
- 触媒学会の収益構造にも言及する意見があり、例えば、他学会の経営や運営の彼我比較の提案などがあった



# Aチーム サマリ版



# Aチーム 問題意識

1. **お金のない触媒学会とその収益構造**  
サブスクサービスとしての充実
2. **時代にあわない討論会**  
スマホ親和性の高い討論会HP  
遠隔地からも参加可能な討論会
3. **深刻化する化学離れ**  
「化学」露出機会の創出に向けて
4. **若手世代の交流機会少**  
そうだ、飲み会をしよう!!

## 今 活性化するために

スマホと連動する(親和性の高い)  
討論会HP



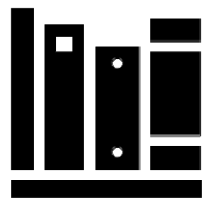
遠隔からも参加可能な討論会



参考  
医学系学会  
<https://hatti.jp/>

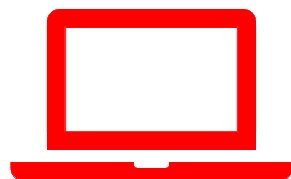
こんなのもあります。  
<http://www.gakkaitv.net/>

サブスクサービスとしての充実  
学会誌だけでなく討論会動画もいつでも見れる



学会誌

+

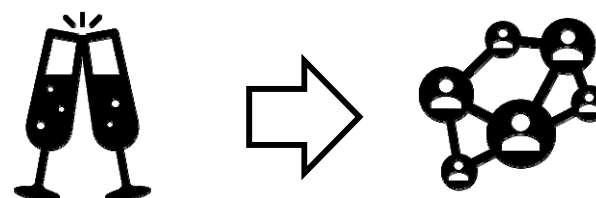


討論会動画

サブスク: サブスクリプションの略で会員制の定額サービス

## 未来の活性化するために

そうだ、飲み会をしよう!!



若手世代のみが参加できる懇親会二次会

「化学」露出機会の創出に向けて

学会監修の実験キットや化学漫画(科学の歴史など)



<https://item.rakuten.co.jp/marutomi-kyouzai/hke2073n/>



<https://publications.asahi.com/original/shoseki/sv/>

# Bチーム サマリ版

(チーム名：まぜるくん)

# 各世代の活性化：化学・触媒への興味・関心の向上

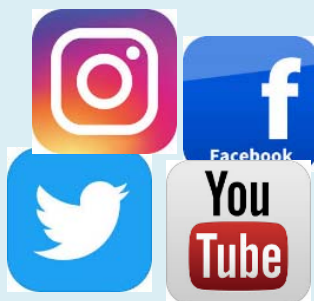
|       | 認知度の向上                                                                                                                                                                                                                      | 考える時間の創出                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 革新的な研究への挑戦                                                                                                                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰も触媒を知らない，興味ない</li> <li>Youtube再生回数：数十回</li> <li>・学校教育で触媒がない</li> <li>・夏休みの自由研究Kitも少ない</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの時間を再現性確認に費やす</li> <li>触媒調製，物性分析</li> <li>・1年も経たず，進路変更</li> </ul>                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・挑戦可能な資金不足</li> <li>・学生指導</li> <li>・企業とのマッチング不足</li> </ul>                                          |
| 活性化対象 | <p>小学生～大学生</p> <p>化学・科学を学んでみよう</p>                      | <p>～修士：研究室の学生</p> <p>科学者・エンジニアを進路に</p>    | <p>博士，ポスドク，助教</p> <p>科学の力で世界を変えよう</p>  <p>目指せノーベル賞</p> |
| 活性化案  | <p>SNSを活用し，</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・触媒，化学の面白さ</li> <li>・授業内容と社会とのつながり</li> </ul> <p>興味関心の向上</p>                                                                                                         | <p>触媒調製K/Hを数値化し，</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・触媒調製の自動化</li> <li>・追試に要する時間短縮</li> </ul> <p>自由時間の増加</p>                                                                                                                                                                                  | <p>積極的にマッチング促進し，</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視野，活動範囲の拡大</li> <li>・研究資金の戦略的調達</li> </ul> <p>将来への希望向上</p>                    |

# 各世代活性化への提案

## ①認知度の向上



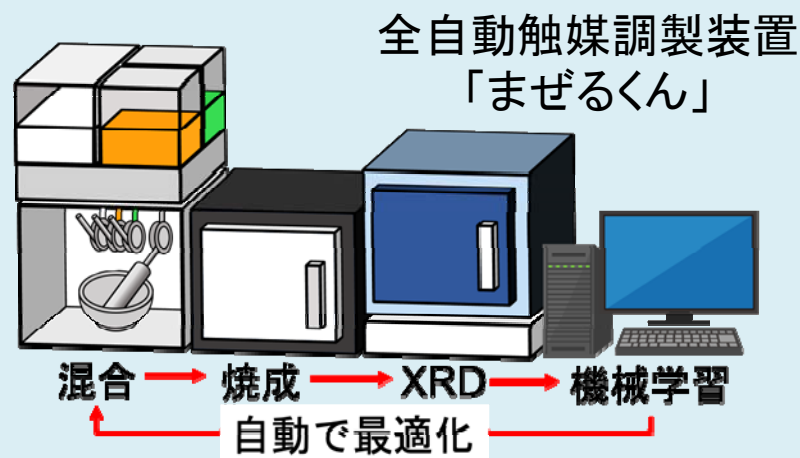
触媒学会でも取組み中



対象:小学生～大学生へ拡大  
目的に合わせて, 発信媒体を選択

化学・触媒コンテンツをSNS配信

## ②考える時間の創出



触媒調製K/Hを数値化・明文化

## ③革新的な研究への挑戦

競争的資金の獲得促進

企業とのマッチング促進



企業からの資金提供



産学官の研究交流



戦略的に若手研究者とのマッチング

## 未来の触媒研究への準備



会員プレミアムの充実  
・HPからの各種動画視聴  
①とも連携  
・学会アプリ

学会HPの高機能化(動画配信など)



## 4. 国際交流活動報告

### (1) 触媒学会協賛・共催行事実施報告

#### 1) **The 17th Korea-Japan Symposium on Catalysis** **(第17回日韓触媒シンポジウム)**

期間: May 20-22, 2019

場所: MAISONGLAD Jeju HOTEL (Jeju, Korea)

Chair: Prof. Hae Kyoung Park (Hanseu University)

HP: <https://www.kjsc2019.com/>

(参加者 321名, 日本121名, 韓国 200名)

#### 2) **APCAT-8 (The 8th Asia Pacific Congress on Catalysis)**

期間: August 4-7, 2019

場所: Centara Grand & Bangkok Conventional Centre,  
Bangkok, Thailand

Chair: Prof. Piyasan Praserthdam

HP: <http://www.apcat8.com/>



## 4. 国際交流活動報告

### (2) 触媒学会主催・共催行事予定

#### 1) **The 1st Japan-China Symposium on Catalysis**

(第1回日中触媒セミナー) (協賛：触媒学会)

会場：大阪大学銀杏会館

期間：2020年 10月11日(日)～13日(火)

組織委員長：山下弘巳 (大阪大)

HP : <http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/msp1/1stJCSC/>

#### 2) **The 18th Japan-Korea Symposium on Catalysis**

(第18回日韓触媒セミナー) (主催：触媒学会)

会場：関西大学100周年記念会館

期間：2021年 5月11日(火)～13日(木)

組織委員長：山下弘巳 (大阪大)・三宅孝典 (関西大学)・

池永直樹 (関西大学)

HP : <http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/msp1/18JKSC/>





## 4. 国際交流活動報告

### (2) 触媒学会主催・共催行事予定

- 3) **Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021)** (主催：触媒学会  
ファインケミカルズ合成触媒研究会 共催：東京都立大学)  
会場：東京都立大学  
期間：2021年 12月6日(月)～10日(金)  
組織委員長：穴戸哲也 (東京都立大学)
- 4) **The 12<sup>th</sup> International Conference on Environmental Catalysis (ICEC-2022)** (主催：触媒学会)  
会場：淡路夢舞台国際会議場  
期間：2022年 6月6日(月)～9日(木)  
組織委員長：山下弘巳 (大阪大) ・薩摩篤 (名古屋大)
- 5) **TOCAT9 (9<sup>th</sup> Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology)** (主催：触媒学会)  
会場：福岡国際会議場  
期間：2022年 7月24日(日)～29日(金)  
組織委員長：石原達己 (九州大)

## 4. 国際交流活動報告



### (3) その他

#### 1) 招致WGによるICC2024招致準備

- ・ IACSでのプレゼンテーション準備  
(ロゴ[下記参照]、パンフレット、動画、PPスライドなど)
- ・ 招致HPの開設: <https://catsj.jp/conf/icc-kyoto2024/>



京都

## 5. Catalysis Park 10周年記念



### (1) 新たな実験レシピの作成と実施

テーマ：触媒のスーパーパワーで蛍光色素を瞬間合成

#### 1) 教室での実施

日時： 2019年8月13日(火)

会場： 武蔵野プレイス（図書館会議室）

参加： 35名の小学生とその家族

#### 2) ブース出展での実施

日時： 2019年11月3日(日)

会場： 武蔵野総合体育館アリーナ

参加： 75名の子供達とその家族

### (2) web情報の更新

内容紹介動画の配信と出前サービスの告知



# 実験教室での様子

教室の様子



会場の様子（開始前）



光の屈折を観察



光の三原色の混合実験（モニターの映す）



各テーブルで合成実験



5Lのフラスコで蛍光色素の発光観察



みんなでサイリウムの化学発光実験

# ブース出展での様子



触媒学会ブース全体



光の実験（立席）テーブルの様

子



合成実験（着席）テーブル（安全メガネ着用）



子供たちに手を上げさせる



蛍光発光に歓声の上がる瞬間



触媒の効果を説明



# Webページの作成

[実験でわかる?](#)
[実験でわかる?](#)
[実験でわかる?](#)
[実験でわかる?](#)
[実験でわかる?](#)

**Event**

出張実験教室  
「実験でわかる触媒の  
秘密」

**Event Type**

実験教室  
「不思議な触媒の世界」

ブース出展  
「触媒のスーパーパワー  
で蛍光色素を瞬間合成」

出張実験教室「実験でわかる触媒のひみつ」

出張実験教室  
**実験でわかる触媒のひみつ**

イベントへの参加と実験教室の実施について

施設手帳では小中高校の子供たちや一般の方々に向けに「実験でわかる触媒のひみつ」と題するイベントを開催や実験教室の実施についてはホームページを円滑にしております。ご希望がございましたら学校や施設までの出張ください。実験内容は、ブース出展または実験教室の2パターンです。下記をクリックしていただくと実験内容をご覧いただけます。ご興味をお知らせいただきましたら学校や施設までお問い合わせください。

**ご利用の流れ**

Event1  
学校へ  
出張

Event2  
出張先の  
開会

Event3  
出張  
行方

Event4  
イベント  
実施

**イベント例**

**<実験教室タイプ>**

実験教室  
「不思議な触媒の世界」

[MORE](#)

**<ブース実験タイプ>**

ブース出展  
「触媒のスーパーパワー  
で蛍光色素を瞬間合成」

[MORE](#)

**Event**

出張実験教室  
「実験でわかる触媒の  
秘密」

**Event Type**

実験教室  
「不思議な触媒の世界」

ブース出展  
「触媒のスーパーパワー  
で蛍光色素を瞬間合成」

実験教室「不思議な触媒の世界」

ここに紹介する写真や動画は、2019年8月に資生堂科学館として武蔵野プレイス（武蔵野市立図書館）で開催した小学4～6年生を対象とした実験教室の様子です。会議室などのスペースを使って、子供達と保護者の方にご参加ください。光や色の不思議なことから触媒のパワーについて体験していただく約90分の実験教室です。

**実験でわかる触媒のひみつ**

出張実験教室  
お問い合せは

電話 03-3251-0236 FAX 03-3251-0237 E-mail: info@jcs.jp

## 6. 第4回企業研究者と学生の交流会

企業研究者と学生の交流会とは・・・

『就活を控えた学生が、企業の一線で働く研究者と実際に交流することで、就職サイトや合同企業説明会では得られない生の情報を得て、自身のキャリアプランや学生時代の過ごし方、あるいは就活や社会に出る心構えを考えるきっかけとなる場にしていただくために企画したもの』

- ・ 学会から会員へのサービスの一環
- ・ 地方学生（非会員学生も参加可）に企業と接する機会を提供

内容：・ 第124回触媒討論会（長崎大学文教キャンパス）会期中の  
2019年9月19日（木）15：30-17：30に開催した。

### ・ プログラム

第1部 企業各社からの講演とパネルディスカッション

宇部興産，昭和電工，トヨタ自動車，日揮触媒化成

第2部 各社に分かれて学生との個別対応

## 第一部：企業PR



## 第一部：パネルディスカッション



- 若手会での事前告知効果もあり参加者が増加。学生からの活発な質問も多く、活気あるイベントとなった。
- 第二部は人数こそ減ったものの、熱心な学生が多く密度の高い交流となった。
- 参加者は
  - ✓ 企業PR 約70名
  - ✓ パネルディスカッション 約60名
  - ✓ 個別ディスカッション 約20名

## 第二部：個別ディスカッション







## 7. 2020年度会長信任投票結果

☆2020年度会長候補者 : 田中庸裕氏 (京都大学)

☆2020年度会長信任投票結果

- ・投票はWEB投票
- ・投票期間：2020年2月1日(土) から2月29日(土)
- ・有資格者：正会員：2047名
- ・投票結果：有効投票率：22.4%、信任率：98.9%

有効投票数の3分の2以上の信任が得られたので、田中庸裕氏 (京都大学) を2020年度触媒学会会長最終候補者として信任。

なお、同氏は5月開催予定の定時社員総会にて理事に選任後、引き続き開催される理事会にて2020年度会長に選任予定。

